

平和観音から
新春
雪の装いの
大野台を
のぞむ

迎春

昭和63年(1988年)1月29日 秋田県合川町 編集 総務課 電話 0186(78)2100

94人が成人の仲間入り

町成人式は一月四日、農村環境改善センターで開かれました。

今年、成人式を迎えられたのは百十五人。式典には九十四名が出席し、お祝いの言葉に、緊張した表情を見せていました。

町民歌斉唱に続いて、地区ごとに一人ひとりの名前を呼びあげて成人証書を贈呈。町長が「みなさんが出生した頃はちように農業の近代化が進められていた頃だった。十二年後は二十一世紀、青年から壮年になりますが、毎日人間形成に努め、優しい心、強い気持を自由に出せるよう、二十一世紀に向け相携えて一歩一歩進んでほしい」とあいさつしました。

新成人を代表して、村形耕悦さんが「きょうより始まる社会人としての人格形成に努力するとともに、社会の繁栄と発展に協力することを約束します」と社会人としての仲間入りの決意を述べました。続いて記念作文の入選者が発表。「一生懸命何かをする努力は必ず報われる、報われなくてはならないのだと思う。」藤島桂子さん(木戸石)「社会を担っていると同時に、こ



報道のライトをあびて、晴れやかに新成人のみなさん

れから訪れる未知の世界へ手探りしながら前へ前へとつき進んでいきます」と伊藤ゆかりさん(杉山田)の発表があり、大きな拍手が贈られました。

式典後は金足農業高校野球部監督嶋崎久美氏が、「雑草軍団を率いて」と題して記念講演。

午後からのパーティーでは久々に顔を合わせた級友、恩師との再会を喜び合い記念撮影や、ふるさとのようすを語り合い、交流を深め合っていました。

12月定例議会

議案12件を原案可決

十二月定例町議会は十二月十八日から二十二日まで開かれました。

山村振興農林漁業対策事業多目的集会所施設設置条例、一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例、町税条例の一部を改正する条例、農業集落排水施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例などの条例四件、宅地造成事業の施工に伴い、字の名称及び区域の変更と、工事請負契約の変更の案件と、昭和六十二年一般会計補正予算、歳入歳出それぞれ七千八百六万八千円が原案どおり可決されました。

今月の紙面

- 2面・3面 新春座談会
- 4面・5面 できごころいろいろ
- 5面 ふれあい広場
- 6面 おしらせ

町長日記から

新春になって、恒例の年頭行事がつづく。

主なものをひろっても、四日御用はじめ、成人式。五日出初式。六日大野台の里御用はじめの講師。ひる頃建設技能組合三十周年記念式典。その後秋田管林局へ陳情。七日某代議士新春の集いへ出席。午後秋田大学等の医師充足の陳情。八日大野台の里成人式。

午後郡町村会の町村長重要共通事項の懇談会。九日町大野台用地開発委員会。十日結婚式。十一日間伐材利用対策委員会。十二日県福祉保健部へ医師充足の陳情等々、行事や仕事かひしめいた。

特に医師の補充はなかなか困難なことで、頭をかかえっぱなしである。

町民医療の問題は健康者では考えられないほどに、病人にとっては重要なことだ。

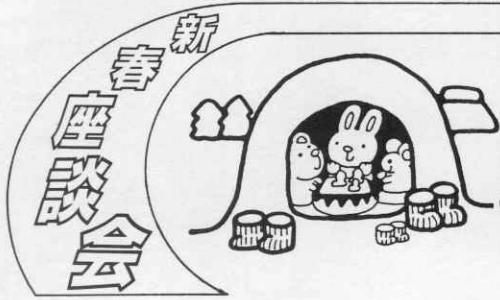
このあと新年度予算編成作業と、県や国に対する陳情、そして町内外の関係団体機関の総会がつづく。

この分では躰が大丈夫かなと思うのは、本人ばかりでなく、心配してくれる人々も多い。

健康こそ文字通り、命の綱(つな)である。(義)

わたしたちの町

人口	
男	4,466人
女	4,789人
計	9,255人
転入	12人
転出	15人
世帯数	2,299世帯
(12月末日住民登録人口調べ)	



誇りに思う福祉の町

若者が定住できる町づくり

司会 あけましておめでとうございます。辰年にちなんで昭和十五年生まれの皆さんにお集まり願いました。

皆さんは社会的にも職域から見ましても中核となつて一番働き盛りの年代だと思います。辰は神に通じて万物がしだいに推進されるといわれますし、今年はその意味では発展の年であろうかと思ひます。

最初に結婚当時の生活や思い出から語り合いたいと思ひます。

経済的に

苦しかった時代

木村 私はサラリーマンであり、生活基盤が弱く結婚してもなお共稼ぎしなければ生活ができない状態、長男には淋しい思いをさせたのではないかと思ひます。

そのぐらい給料の安い時代でした。

津幡 皆さんの中で、一番早く私が結婚したようですが、親がよく子供の面倒をみてくれましたので、おばあさん子になつたようで、子供には申し訳なかつたと思ひます。



津幡 靖子さん

保険外交員
道 城

伊東 結婚当時、自家用車をあまり見かけませんでした。オートバイの時代であり、よく乗りまわしたものです。今考えると経済の成長に、びっくりしています。

工藤 最初営林署へ行つたのですが、給料が安く、よそで今の仕事を覚え現在に至っています。

松井 実家は農家でありましたが、私は全然やらなかつたので嫁に来て、実際農業をやる事になり、大変苦勞しました。

こちらの方では、田圃の畔に小豆を植えており、田植後の草取りが大変でした。

この前後から農具が機械化され、耕運機の時代だつたと思ひます。

土濃塚 農業については全然わからなくて合川に来ましたが、水苗代があり、一、二

年、苗を取つた記憶がありません。

その後、苗栽培の技術が進歩し、農業が変つて来た時代でありました。

平川 その当時、商売する人は車が無いとだめでした。私は能代まで魚を仕入れるため、夜中の十二時家を出発し、一時半ごろ市場について、二時市場が開かれると買入れ帰路につくのですが、砂利道で運転は大変でありました。

車で秋田市まで四時間が必要な時代で、今では道路事情が良くなり、市場は朝六時に開かれますので、大変に楽になりました。

三浦 昭和四十五年土地基盤整備が行われ、それまでは、田植え、収穫がいつも遅れた訳ですが、通年施行により農業所得が半減し、そうした時期、長女に続き、長男が生まれた年です。

当時の農機具は、今のよう性能が良くなり、十年間は良く頑張つたと思ひます。

安部 すでに乳牛を導入していましたが、最初は自転車で二ツ井町まで、牛乳を運びました。冬は馬そりです。その後、農協に届けるようになり、昭和四十年頃から庭先に置くようになりました。

町長 その当時は、一般的には家の建て直しをする時代であり、サラリーマンの場合は物価が上り、給料は安く、生活が苦しい時代でもありません。その後、圃場整備事業を境にして、農業形態が変り、松井さんのように、女性で農業專業でやっているのは今はめずらしいし、田圃の仕事は男の仕事に變つて来た時代でした。

司会 経済成長が始まった時代の結婚のようですが、子供のころの思い出はどうでしたか。



伊東 忠敏さん

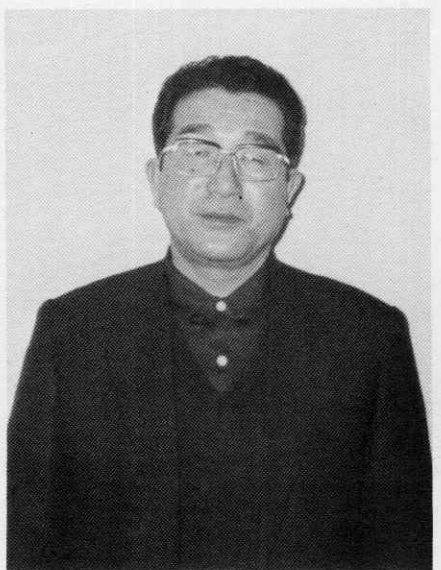
国家公務員 (合川営林署)
杉 山 田

自由の

遊んだ時代

工藤 学校がおわるとすぐ田圃へ行つて、仕事をしたものです。けれども、今の子供は田圃へ行く事もなく、勉強しなければならぬと言っています。

津幡 田植え休みというのがあつて、中学生から田植えをやつたものです。そのころはおやつがわりに、栗拾い等し、朝早く起きて拾



伊東 昇悦郎さん

自動車整備業
駅 前

つたものです。これが最高のおやつでした。みそつけオニギリでおなかを満たしました。今の子供はお小遣いを買って好きなものを買って食べています。

私達は高校へ行く時は、家の人にお願ひして入れさせてもらいましたが、今の子供は反対で、家の人からお願ひしないためです。

土濃塚 私の実家は洋服の仕立て業でありましたが、家の手伝いはそんななありませんでした。

良く山や川で遊びましたが、今の子供は自由に遊べないといひますか、きめられた遊びよりないようかかわいそうです。

安部 小学校三年生から「サヒトリ」をやりました。というよりもやらせられたのでしようね。身体中泥だらけです。今考えますと、みんなそうであつたんでしょうが良く頑張つたと思ひます。

木村 この季節の遊びですと、手製でできたそり乗りと、スキー乗りであつたと思ひます。スキーの金具ですが馬の皮で作つた留具がついているのがいい方で、私達は、ベル

へ三面へつづく



木村 芳夫さん

地方公務員 (県農業改良普及所)
駅 前

安部 すでに乳牛を導入していましたが、最初は自転車で二ツ井町まで、牛乳を運びました。冬は馬そりです。その後、農協に届けるようになり、昭和四十年頃から庭先に置くようになりました。

津幡 田植え休みというのがあつて、中学生から田植えをやつたものです。そのころはおやつがわりに、栗拾い等し、朝早く起きて拾



松井 イマさん

農 業 (稲 作)
福 田

トを利用して自分で作って乗っていました。

服装はほとんど「どんぶく」で家に帰るころは服に「シシガ」がついて、凍っていました。

松井 正月によく羽根突きをしたことを思い出します。

柳の木についた「コブ」を取りそれに羽根をつけてよく遊びました。

今の子供は羽根突きはやりませんが、昔の遊びが写真のポーズになりました。

平川 中学生のときの職業の時間が、一番印象に残っています。

今はバイパスになっていますが、旧グラウンドの下に田圃があり、みんなで協力し合い収穫した喜びがあります。先生方にもおこられた時もありますが、それが今では懐かしいです。

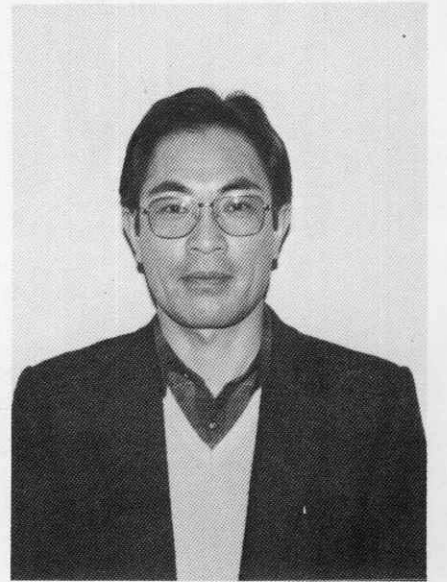
三浦 小学校の低学年だったと思いますが、生徒全員が粉で頭を真白にされました。後でこれが殺虫剤のDDTでした。

町長 今の子供は自分でできていなくて、今後そういう遊びとか、体験教育が必要であると思います。

司会 その後、経済成長と



土濃塚米二さん
団体職員 (大野台の里)
芹 沢



平川 堅一さん
自営業 (魚・仕出し業)
李 岱

未来の夢

ともに町のできごとが、大きく変わっています。町村合併、高校をでてその後圃場整備事業という大きな事が入って来ました。そして結婚期、子育てとなった訳ですが、今後、これらをふまえ、皆さんの夢、町づくりについて考えていることはありませんか。

未来の夢

松井 田圃に野菜を植えている訳ですが、とても考えられませんでしたが、考えもおよびませんでした。

今町では、町おこしに力を入れていますが、定着した農産物を見いだし、若い人にも農業を続けていけるような、町づくりをめざしていきたい

よく仕事仲間話し合いますが、将来、大野台にコロナーのような施設で、年のいった人が集まり、仕事をしたい人はし、遊びたい人は遊ぶような施設があればよいものと、話しています。

夢ですが、同志でグループを作り、そういう所で、みんなで助け合い生活して行きたいし、それに向って頑張りたいと思います。

三浦 私達は今、年金をもらってありますが、年金をもらう時代がもうすぐ来ると思っています。

本年は、これからどうするか、何年で社会に貢献するか、十年後、二十年後を真剣に考える年であると思います。

平川 合川町は福祉の町で、他町村へ行きますと、合川町はいいなあとよく言われます。現在ここに住んでいてよかったと感謝しています。

今後スポーツの町として、健康な身体づくりを進めてい



三浦 勝彦さん
農 業 (稲作)
三 木 田

の親以上だなあとと言われる人になるよう、努力したいと思うし、合川町は福祉の町で、ほこりに思います。

工藤 四十二年から駅前に住みましたが四十六年ごろから急激に車が増えてきて、仕事もままあてず。

ただきたいし、温泉ボーリングもやってほしい。

今後できるだけ協力し、住みよい町に育てていきたいと思

伊東 営林署は今後、人員が削減されるようで心配です。



島山 町 長



安部 寿勝さん
農 業 (酪 農)
農 増 沢

若者の定住のため、大野台の活用、町行造林への若者の働き場が必要になって来るのではないかと思います。

安部 十年もすれば、今の仕事が大変になると思います。子供が自分のあとつぎをやるか、心配です。

若い人が魅力ある町と感じる町になってほしいし、私達も努力しなければならぬと思います。

土濃塚 自分の子供に親を見る家庭づくりの気持を、忘れないしつけをして行きたい。また、都会から町を見たとき、一番すばらしいと感じるのは、やはり自然だと思えます。

この自然を利用した広場づくりが、大切だと思えます。

木村 子供の親として、将来一緒に子供と住みたい、これが希望です。このためにも若者が定住できる町づくりと

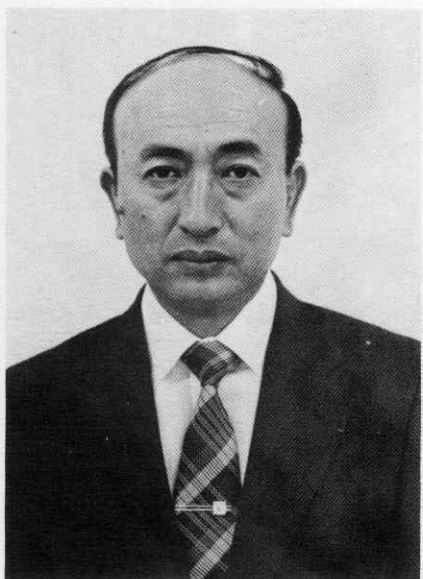
して、大野台のかぎられた自然を利用した、有効活用と開発が必要と思われま

これに期待します。

町長 皆さんは戦前戦後、高度成長にまたがって育った訳で、時間を縮めることの出来る物、車、洗濯機、冷蔵庫等、金の有る無しに関係なく、生活水準が上り、省力化して来た時代です。

今年の成人式での出席者の内、合川町に住んでいる女性が少ない、そういう事で、女性型の誘致企業を今考えています。

もう一つは、合川町のことをだけ考えず、広域的な人と人の交流、開放の社会を考えなければならぬ、子供は一人ひとり個性があるものから、仕事の種類が多くなければならない。若者の定住化については、これらを考



木村 教育 長

たムードが出てこないと思わずかしいと思います。

今高長橋付近で、石油のボーリングをやっていますが、石油が出るか、ガスが出るか、湯が出るかの楽しみです。

それからきれいな町、清潔でないためです。だから大野台開発でも緑が多くて、ところどころ、農用地開発もやらなければならないし、工場誘致もしなければならない。

また、高齢化社会に向けての福祉団地その他、文化施設、交通網の整備も必要であるので、高速道路のインターもほしい。空港の問題もある。

未来的には、大野台は県北地区みんなのものと考えて行かなければならないし、私は、そういう環境づくりを、時間がかかるとは思いますが、その方向にもって行きたいし、子供達にそういう精神を育てるため、當農大へ合宿させ、工場見学をし、子供に夢をもたせ、多種類の職業を見て行く、そういう仕組みが最も健全な姿ではないか、教育は体験が必要ではないかと思

司会 今年は皆さんの年でもあります。より一層のご活躍とご健康を祈念して、新春座談会を終わります。



新春を飾る 消防出初式

合川町の消防団の出初式は一月五日、農村環境改善センターで開かれました。式典に先だって、駅前地内を進行。広域消防合川分署前に集合した団員は、整然とした行進を披露しました。



まといの心意気晴れやかに寒風の中、新年の行進

山町長らが観閲。団旗とまといを先頭に力強い行進を行いました。

式典では坂上団長が「消防の重要性、犠牲的消防精神を堅持し」と式辞。

町長や来賓方から団員の活動を讃え「さらに日常活動を」とあいさつが続きました。

功労団員の表彰、辞令の交付と新年らしい緊張感あふれる式典でした。

表彰者は次のとおりです。

- ▽秋田県知事表彰
 - 有功章 桜井正一(部長)
 - 成田正一(同) 山岡剛(同)
 - 三十五年永年勤続章 三浦昭一(部長)
 - 三十年永年勤続章 小田慶一(分団長)

出初式典



二十五年永年勤続章 藤岡久治(班長)

二十年永年勤続章 関多悦(部長) 木村忠光(同) 山岡剛(同) 近藤一芳(班長) 松岡秀治(同) 鈴木修二(同)

今泉仁雄(団員) 佐藤峯雄(同) 吉田勇夫(同) 杉淵勉(同) 山岡耕治(同) 福岡善悦(同)

消防・水防協力者表彰 李笛子供会

▽秋田県消防協会会長表彰
功労章 今泉健一郎(部長)

佐藤吉男(同)

十五年勤続章 齊藤勝二(班長) 齊藤良一(同) 坂上久エ門(団員) 齊藤幸夫(同)

桜田博(同) 金田明(同) 金森勝三(同) 米倉章(同) 越高常蔵(同)

十年精勤章 永坂春夫(団員) 森岡耕一郎(同) 藤島元(同)

▽秋田県消防協会大館北秋田支部長表彰
優良火災予防組合 新田目火災予防組合

優良少年消防クラブ 芹沢少年クラブ

▽合川町長表彰
駅前親と子の会

本格的な冬を迎え、火災の発生しやすい季節になりま

した。ストーブ、煙突、ボイラーなどをもう一度点検して下さい。一人ひとりの心がけで、火災を無くしましょう。

女は家庭の太陽

特産品や披露宴まで身近かな話題話し合う

第二十七回合川町婦人問題研究会は一月十七日、農村環境改善センターで開かれました。

「住みよい地域づくりをするために」健やかに子供を育てるために「くらしを考えるために」の三テーマに婦人の声をもっと町づくりに役立てようと毎年開かれているもので、百五十名の参加者が活発な話し合いを行いました。

各分科会では町おこし問題を中心に、▽スイートコーン、あわもちなどの特産品作りの推進▽お正月のお年玉のあたえ方、非行のないよう家庭環境を良くし、朝の挨拶から、家庭の温かさを持たせる。▽冠婚葬祭の記念品や引出物について新生活改善運動の推進▽今農家は減反が多くなつて

困ってあきらめの心境が大きい。

こんな時期こそ「女は家庭の太陽である」を考え、家庭を明るくしていく必要がある。など活発な意見が出されました。

50人を支部長表彰

阿仁部交通安全協会合川支部(米倉甚逸支部長)の昭和六十三年度の総会が、一月二十四日、町農村環境改善センターで開かれました。

総会では議案にさきだち、優良運転者五十人が表彰されました。

議案は原案どおり可決し、死亡事故ゼロ三千日の達成を目標に、特に人身事故の減少をめざし、地域ぐるみの安全活動を展開していくことに決定しました。

表彰の受賞者は次のとおり

▽東部会 永坂初男、松橋民雄、米倉圭子、工藤清一、米倉五十治、高橋友勝、桜井清造、松岡俊夫、松岡好夫、斉藤辰美、平川章治、佐藤文明、佐藤昭一、佐藤冬和、近藤久美子、松岡チヨ、山田正男

▽西部会 成田信一郎、木村悦雄、木村繁美、成田賢一、相沢トミエ、藤岡愛子、斉藤悦子、安部義弘、松岡忠郎、松岡保弘

▽南部会 伊東忠敏、御所野ユリ子、桜田幸男、金田咲美、松橋昭一、成田秀雄、福岡政一、福岡利輝、加藤作蔵、三浦節子、相馬勇一、伊東雅晴、桜庭祐吉

▽北部会 佐藤善一郎、藤島イワ、杉淵育太郎、藤島ふみ、小田宏子、桜田リサ子、藤島愛子、藤島恭子、畠山ヤス子、桜田イサ子

第一分科会、住みよい地域づくりをと活発な意見。



赤水、水不足を解消

木戸石、八幡岱地区簡易水道改良事業完成

町が進めていた木戸石、八幡岱地区簡易水道改良事業がこのほど完成、十五日八幡岱地区集会所で完工式が行われました。

同地区では昨春以来、断水、赤水の発生などに悩まされていたため、昨年七月末に改良工事に着手、昨年末に完成し、今日十日から給水を始めました。

総事業費は一億四十六万四千円で、完工式には関係地域役員、議会、工事関係者が出席、工事の無事完成と水不足の解消を喜び合いました。

同地区では昨春以来、断水、赤水の発生などに悩まされていたため、昨年七月末に改良工事に着手、昨年末に完成し、今日十日から給水を始めました。

総事業費は一億四十六万四千円で、完工式には関係地域役員、議会、工事関係者が出席、工事の無事完成と水不足の解消を喜び合いました。

同地区では昨春以来、断水、赤水の発生などに悩まされていたため、昨年七月末に改良工事に着手、昨年末に完成し、今日十日から給水を始めました。

総事業費は一億四十六万四千円で、完工式には関係地域役員、議会、工事関係者が出席、工事の無事完成と水不足の解消を喜び合いました。

同地区では昨春以来、断水、赤水の発生などに悩まされていたため、昨年七月末に改良工事に着手、昨年末に完成し、今日十日から給水を始めました。

総事業費は一億四十六万四千円で、完工式には関係地域役員、議会、工事関係者が出席、工事の無事完成と水不足の解消を喜び合いました。

同地区では昨春以来、断水、赤水の発生などに悩まされていたため、昨年七月末に改良工事に着手、昨年末に完成し、今日十日から給水を始めました。

総事業費は一億四十六万四千円で、完工式には関係地域役員、議会、工事関係者が出席、工事の無事完成と水不足の解消を喜び合いました。

同地区では昨春以来、断水、赤水の発生などに悩まされていたため、昨年七月末に改良工事に着手、昨年末に完成し、今日十日から給水を始めました。



竣工を祝う

国立市・合川町

第十八回児童交流

東京都国立市と当町の児童交流は第十八回目になりました。一月十二日から五日間、当町の十八名の児童が国立市を訪ねました。

交流は夏休みには国立市から当町に児童が来町。冬休みには当町から訪問し、里親の家庭で民泊しての交流を重ねています。

家族から離れて環境の違う場所での生活で、子どもたちは多くのことを学び合っているようです。

今回の交流では、対面交流、里親といっしょの自由行動、十四日には、これまで合川町を訪れた子どもも出席し、パティーが開かれ、国立市谷清市長が「この交流が長く続くことを願っている」と歓迎のあいさつ。

児童を代表して後藤由貴子さん(東小六年)が、「夏には合川町へいらして下さい」とお礼の言葉を述べました。

この後、歌や踊りが次々と披露され、キャンドルサービ

楽しい冬休みの思い出に

楽しい冬休みの思い出に

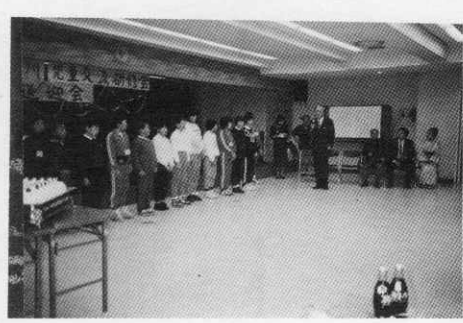
楽しい冬休みの思い出に

楽しい冬休みの思い出に

楽しい冬休みの思い出に

楽しい冬休みの思い出に

楽しい冬休みの思い出に



楽しい冬休みの思い出に

スなどで楽しいひとときをすごしました。

初めての都会生活を体験した児童は「不安であったが大変親切にしてもらった」と感想を述べていました。夏に子どもたちとの再会を約束していました。

事故撲滅に新たな誓い

阿仁部交通指導隊連合会
当町で観閲と祈願祭



阿仁部交通指導隊連合会の六

向う一年間の交通安全と事故絶滅を祈願



十三年交通安全祈願祭が、一月八日町役場で行われ、向う一年間の管内での交通安全を祈るとともに、隊員の緊密な連携により交通事故防止への誓いを新たにしました。

隊員の観閲を兼ねた祈願祭は今年合川町が会場を引き受け、この日、指導隊員、事務担当職員、四十五人が役場前に参集し、畠山町長、加藤森

若妻サミット87に参加して

先日、若妻サミットでは、みな様の暖かいご厚意に触れ、何か忘れかけたやさしさのようなものをひろうことができたような気がしました。

前日、藤原さんから、合川町のことは聞いておりましたが、夜、町長さんとお食事をし、そのお人柄のやさしさに感激してしまいました。

もちろん、関係者の一言

ひとことが合川そのものももつ澄んだ心を教えてくれたような気がします。

当日、発表する原稿は、私の気持ちを正直書いたものです。何をたずねられても、私の気持ちでお答えするだけです。

中略

短かく、きめられた時間内では、深い話しもできませんでしたが、あの原稿には、まだまだ続くものがあり、問題となる長い文章も随分カット

吉警察署長が、全隊員を観閲しました。

そのあと役場会議室の特設の祭壇前で祈願祭を行い、最後に町内一巡のパレードに移り、今年初の交通安全啓発活動をしました。

オーストラリアからお客様

ライオンズクラブの国際交流留学生として、オーストラリア、フイーンズランド州から町を訪れているジョアン・パルマーさん（十六歳）が十二月二十六日、合川町を表敬訪問しました。

ジョアンさんは、先ごろ高校を卒業し、夏休みを利用して八日來日、同じ留学生として渡米した駅前長田秀美（建一さん長女）さん宅にホームステイしながら、町内外をめぐり、日本人のくらしを学習、この日は、秋田合川ライオンズクラブのメンバーとともに

してました。喉まででてきては、ひっこめた、その気持ちを話してできなかったのが残念です。

ほんとうに合川町は不思議な町です。

たった一日半でその町のすばらしさ、来た人を感じさせてくれます。そこに住む人のやさしさでしょうか。

今、もう一度、出かけて行ってみたい気持ちです。

どうぞみなさんよろしくお伝え下さい。ありがとうございます。

大曲市四ツ屋西下瀬六十二の六 柏原千春

役場を訪問、畠山町長と和やかに懇談しました。

町長からの記念品「雪ぼち」の梅の花の説明に「オープラム」と喜んでいました。

二週間ほど、合川の冬をすごし、一月九日元気に帰国の途につかれました。



和やかに懇談する
ジョアンさん（左）

新年から縁起いい

お年玉付き年賀
幸運な一等、二等当り

お年玉つき年賀ハガキの引き替えが、二十日から行われていますが、合川郵便局管内で一等と二等の当選者が出ました。

幸運の一等は佐藤雄幸さん、菅農大校勤務・川井、二等は小林信子さん・会社員・李岱で、二十三日同郵便局で景品のカメラ一体型ビデオ（一等）とインスタントカメラ（二等）を受け取り、「今年縁起がいい」と大喜びでした。

合川郵便局では、五年前に

皆さんも、もう一度ハガキをおたしめ下さい。

それぞれの家中おいしくいただきます。

第二回は、とりわけ「あわもち」の味は格別、私共、遠く、そして長年故郷を離れている者に対する、温かいお心づくしが感じられ、お蔭様にて、心豊かな新年を迎えることが出来ました。

ふるさと便も、内容その他で何かと大変な事と思いが、今年も実施して下さいようお願い申し上げます。

京都市中京区大宮通り御池上 藤島 俊三



ふれあい広場

ふるさと会員になられた皆さんから、寄せられたおたよりの中から紹介します。

心豊かな新年

明けましておめでとうございます。

昨日、ふるさと便にて、いろいろとお世話になりました。早速お礼を申し上げなければなりません。雑事に取りまされ失礼致しております。あしからず、ご寛容下さい。

合川ふるさと便は第一回、第二回共、心憎いばかりの、心温まるお心づくしの品々、とりわけ第一回のキリタンポに比内鶏、もし比内鶏がなかったら龍の目に腫が入らないとも言えるべきか。また「キミ」は合川独特の味で、北海道ものなどは、比べものにならない美味です。

みそも、椎茸の吸いものも、またふきそば、ふきうどん、

それだけに家中おいしくいただきます。

第二回は、とりわけ「あわもち」の味は格別、私共、遠く、そして長年故郷を離れている者に対する、温かいお心づくしが感じられ、お蔭様にて、心豊かな新年を迎えることが出来ました。

ふるさと便も、内容その他で何かと大変な事と思いが、今年も実施して下さいようお願い申し上げます。

京都市中京区大宮通り御池上 藤島 俊三

故郷の心がふる

謹賀新年

良きお正月をお迎えの事と思えます。宇都宮も診らしく、暖かな正月です。

この度は、心のこもった送り物を届けて頂き、ありがとうございます。とてもお話ししたいです。

合川町に育ちながら、故郷の名産も知らず、こんなものもあったのかと驚くやら、感心するやらしばし、故郷に心が写り、にぎやかな食事が出来ました。

これからも皆様の御活躍をお祈り申し上げます。

栃木県宇都宮市越戸町九十六ー二十二 人見 恵子

加入ください

交通災害共済
不慮の災害共済

二月一日から、六十三年度分の市町村交通災害共済、その他の災害共済の加入申し込みを受付します。

掛金は、交通災害共済年額四百円、その他の災害共済年額三百円、共済期間は、四月一日から昭和六十四年三月三十一日までの一年間、ただし、途中加入の方は加入翌日から三月三十一日までです。

給付内容は次のとおりになっています。

▽交通災害 事故による後遺障害又は死亡 五十万円から百万円まで。傷害治療の場合 合 一万五千円から二十万円まで。

▽その他の災害 後遺障害又は死亡 五十万円から百万円まで。

くわしい内容は各家庭にチラシを配布していますのでご覧下さい。申し込み、問い合わせは役場総務課へお寄せ下さい。

正月の行事や遊びを話しながら、子供の頃の自分にかえって、たのしい夜でした。

ほんとうに、ありがとうございます。

遠い岐阜より、合川の皆さんの御健康と発展をお祈り申し上げます。

岐阜県羽島市竹鼻町九の内 四一三 中谷 ウエ

ふれあい広場に、町外の皆さんからのおたよりをお寄せください。

さわやか君



22 21 20 19 18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 7 6 5 4 3 2 1 31 30 29 28 27 26 25
月日土金木水火月日土金木水火月日土金木水火月日土金木水火月日土金木水火月日土金木水火月日土金木水火月

町内各小学校スキー大会
交通安全日
青少年の日
広域組合議会
大館・北秋田小学校スキー・米内沢大会
高校組合議会
織維産業業 三千八百六十六円
品製造業 三千八百六十六円
二年十二月二十八日より
出版・印刷・同関連産業 三千八百五十九円
四月六十二日(昭)和六十二年十二月二十八日より
卸売業・自動車小売業 三千八百四十二円
卸売・小売業は昭和六十二年十二月三十一日より
最低賃金について、不明の点がありましたら、労働基準

情報

ふるしんぼん

○広報はとじて保存
○ごよみにあなたの予定をメモして

秋田県産業別

最低賃金が改正

使用者は、労働者に対してこの最低賃金額以上を支払わなければならない。

▽食料品・飲料・飼料製造業 三千六百八十二円(一時間 四百六十一円) 昭和六十二年十二月二十六日より
▽繊維産業 三千八百六十六円(一時間 四百四十四円) 昭和六十二年十二月三十日より
▽木材・木製品・家具・装備品製造業 三千八百六十六円(一時間 四百七十六円) 昭和六十二年十二月二十八日より
▽出版・印刷・同関連産業 三千八百五十九円(一時間 四百六十二日) 昭和六十二年十二月二十八日より
▽卸売業・自動車小売業 三千八百四十二円(一時間 四百八十三円)
▽小売業 三千六百五十五円(一時間 四百五十二円)
卸売・小売業は昭和六十二年十二月三十一日より

県民税・所得税

申告を忘れずに

三月十五日が県民税等の申告期限です。町では、各地域の会館などで、申告相談を行います。

各家庭にチラシで、相談日程と、必要な書類などを案内しますので、お忘れなく申告ください。

なお、大館税務署から、申告相談日を指定したハガキを送られている人は、町の相談日にはなく、指定の場所で申告相談してください。

大館税務署相談 二月十八日、十九日、役場会議室

献体に協力

秋田大学医学部では、学生が人体の構造と仕組みを理解するための解剖実習に必要な献体を求めています。

今月の納期

県民税第4期 1月分

国民年金

国保税

児童手当(一子)

から)手続きを

昭和六十三年四月一日からは、義務教育就学前の児童を含む十八歳未満の児童二人以上養育している方で、収入が一定の額未満の場合に、二番目の児童から支給されます。

支給額は二人目の児童には月額二千五百円、三番目以降の児童には、一人月額五千円が、義務教育就学まで支給されます。

昭和六十三年四月一日に新しく対象となる方は、三月三十一日までに役場福祉課で手続きが必要です。

(昭和六十三年三月三十一日までは、二番目の児童は昭和五十八年四月二日以後に生まれた児童、三番目以降の児童は昭和五十三年四月二日以後

公営住宅入居者募集

町では、公営住宅の入居申し込みを受け付けています。

▽所在地 川井字松石殿(松ヶ丘団地)

戸数 一戸 規格 六畳三、台所、浴室、トイレ、物置
家賃 二万八千円

▽所在地 八幡岳新田宇林岱(林岱団地)

戸数 一戸 規格 六畳三、台所、浴室、トイレ
家賃 二万一千円

▽申込期限 昭和六十三年二月十日

▽申込方法 役場建設課にある申し込み用紙により申し込みすること

▽入居資格などありますので建設課に問い合わせ下さい。(七七八-二二一五)

に生まれた児童が対象となります。

町の辞令(一月二日付)

▽診療所事務長解任 土濃塚一郎(助役) 診療所事務長心得兼出納員(財政課長補佐) 伊藤和也 財政課長補佐(同主任) 工藤正則 総務課

七歳時記

手袋

東京に雪が降ると、転んで骨折したりする人が多く、よく話題になります。これは、

主査(同主任) 鈴木勲 農林課主査(同主任) 坂上満 診療所看護婦長心得(同中級看護婦) 渡辺比奈子 出納室主任(同主任) 近藤チカ子 総務課主任(同主任) 斎藤悦子 同(同運転手) 岸田義孝 建設課主任(同運転手) 佐藤征一 任用 米倉貞子(診療所主事兼出納員) (一月十五日付)

▽退職 和田勇治(建設課長) 建設課長(同課長補佐) 小林富男

(おわび)

広報前号の公営住宅入居者募集の、松ヶ丘団地規格の欄五畳三は六畳三、田の沢団地の規格六畳三は六畳一の誤りでした。

十一月号の町長日記の「若妻の強強会」は「若妻の勉強会」の誤りでした。謹んでおわび申し上げます。

雪に慣れていないからでもありますが、都会の人が最近あまり手袋をはめなくなったこととも関係があるようです。寒いと手をポケットに入れていたため、転んだときにけがをしやすくなったのです。

手袋というと、子供のころ、霜やけの手にお母さんが夜なべして編んでくれた手袋をはめて、霜柱を踏みながら登校した思い出のある方も多いと思います。昔は子供の手袋は左右を毛糸のひもでつないでいました。大切な手袋をなくさないためです。でも最近は、電車や駅の落とし物の手袋を探しに来る人がほとんどないそうです。

手袋とひとくちにいいますが、形によっていろいろな名があります。五本指のものをグラフ、親指と他の四本の指とが別になっているものがミトン、指先がないものがミットです。

手袋は防寒だけでなく、装飾用、礼装用としても使えます。男子の礼装には白の子やぎの皮の手袋が使われることもあり、女性の盛装にはひじの上まであるものもあります。

善意のご寄付

敬称略

- ▲香典返しに▲
- | | | |
|--------|-----|----------|
| 松橋 昇 | 道城 | (故父 岩造) |
| 松岡 祥光 | 羽根山 | (故父 彦治) |
| 金田 重一 | 新田目 | (故母 キン) |
| 杉渕 常太郎 | 増 沢 | (故母 ヤリ) |
| 木村 寛造 | 李 岱 | (故母 ヨ) |
| 永井 隆 | 上 杉 | (故父 常治) |
| 山田 正男 | 金 沢 | (故祖母 アサ) |
| 島山 利雄 | 木戸石 | (故父 友治) |
| 三浦 タケ | 三木田 | (故夫 一) |
- ▲一般寄付▲
- | | |
|-------|--------------|
| 落合 良子 | 山形市江南1丁目21の6 |
| 杉渕 松治 | 増 沢 |
- ▲広報郵送料▲
- | | |
|-------|--------------------|
| 三浦 明男 | 東京都杉並区宮前3-33-12 |
| 成田 貞男 | 東京都多摩市永山3-1-11-306 |
| 佐藤 チマ | 埼玉県川口市芝3-8-10 |
| 小沢 節子 | 埼玉県草加市谷塚仲町173-12 |

慶弔だより

- ▲お誕生おめでとうございます▲
- | | | |
|-------|----------|----|
| 安部 有里 | 子 増 沢 公作 | 三女 |
| 島山 新 | 駅 前 美智義 | 長男 |
| 齋藤 優樹 | 新田目 進 | 二男 |
- ▲謹んでお祝い申し上げます▲
- | | | |
|------|--------|-----|
| 松橋 岩 | 造 治 道 | 人 父 |
| 松岡 彦 | 常 治 羽 | 光 本 |
| 永井 常 | キ 治 根 | 人 一 |
| 杉渕 常 | キ ヤリ 増 | 母 太 |
| 木村 村 | ア ヨ 李 | 母 常 |
| 山田 友 | ア サ 金 | 母 正 |
| 島山 田 | 友 治 木 | 母 戸 |
| 三浦 治 | 一 三 田 | 母 石 |